

主要事業マネジメントシート

部局名 環境農林水産部

事業名		ため池安全安心向上促進事業費 / 担当室課 環境農林水産部農政整備課			
予算額	H24 千円( ) H25 千円( )	H26 千円( )	H27要求 千円( )	H24 千円( )	H25 千円( )
事業の優先性	実績 (項目名: 知事重点分野) (項目名: 地震対策、集中豪雨対策) (項目名: 人口減少関係) (項目名: 成長戦略) (項目名: 安全・安心を確保し、持続的に発展する都市づくり) (項目名: 新・地震防災アクションプラン) (項目名: 重点 ) (項目名: その他)				
役割分担	行政としての役割 <input type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割 (理由) 局地的豪雨に対するため池の監視、管理体制の強化は広域としての府の役割	民間との役割分担 <input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他 (理由) 局地的豪雨に対するため池の監視、管理体制の強化による府民の安全確保に向けた自治体の役割			
事業手法	手法の妥当性 頻発する局地的豪雨に対して、水防上監視の必要なため池(水防ため池A級、B級)に水位計等の観測機器を設置することで、府、市町村、ため池管理者がリアルタイムに防災情報を収集・伝達することが可能となることから、ため池の監視、管理体制が強化され、地域の安全安心の向上が図られる。				
事業選択	受益と負担 <input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担にならない				
事業間調整	将来のリスク管理 今後、設置した観測機器の維持管理が必要				
事業効果	庁内での連携 特になし				
事業効果	他事業との整合性等 他事業との重複はなし				
目標・指標	(事業目標) 現行の50箇所に加えて、水防上監視の必要なため池144箇所(但し、今年度、水防ため池を見直し中)を対象に水位計等の観測機器を設置し、関係者が監視できる仕組みを構築し、ため池の監視、管理体制の強化、地域の安全安心の向上を図る。 (指標) ・平成27年度は観測システムの検討・設計を実施し、モデル地区に観測機器を設置する (実績)				
コスト分析	(事業期間) H 27 ~ H 29 (コスト分析結果) H24(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円 H25(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円				
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合に記載>				